

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		農業委員会運営事務		担当課	農業委員会事務局	担当係	農地係	管理番号	69111	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり		根拠法令 個別計画等	農業委員会等に関する法律 農地法、農業経営基盤強化促進法 地方自治法				
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援							
	主要プロジェクト		(未使用)							
事業概要		農業委員会総会の運営を円滑に行い、農地利用関係の調整、農業経営の合理化を推進するものである。先進地視察や各種研修会等をとし、委員の資質の向上を図るものである。また農委だよりの発行やホームページを活用し農業委員会についての情報の公開を行うものである。								
目的 ※何のために		農地法等に関する相談・指導及び許可申請等に対し助言等を行い、農業委員等の資質の向上と農家の地位の向上を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		農業委員、農地利用最適化推進委員、農業者								
手段 ※どのように		総会の運営、先進地視察・各種研修会への委員の参加。農委だよりの発行。ホームページを利用し情報公開を実施する。								
成果 ※何を求めるか		農地の権利調整や農業経営の合理化などを推進し、農地の保全や流動化を促し、農業の推進を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	農業委員会運営事務費	22,086,572
本事業の 主な業務		・総会運営					・			
		・農地利用最適化活動					・			
		・農業委員の研修					・			
		・農委だよりの発行					・			
		・農地基本台帳の整備					・			
		・ホームページを利用した情報公開					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・農業委員会総会の運営 (農地法等の許認可業務等) ・農地利用最適化活動 ・担い手の育成・確保	・農業委員会総会の運営 (農地法等の許認可業務等) ・農地利用最適化活動 ・担い手の育成・確保	・農業委員会総会の運営 (農地法等の許認可業務等) ・農地利用最適化活動 ・担い手の育成・確保	・農業委員会総会の運営 (農地法等の許認可業務等) ・農地利用最適化活動 ・担い手の育成・確保		
事業費	予算(現額)	23,071,000	22,667,000	23,018,000	32,339,000		
	決算額	20,859,517	22,086,572	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	7,603,000	6,832,000	7,383,000		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	45,200	49,290	51,000		
	一般財源	13,211,317	12,906,282	16,135,000	24,905,000		
人件費	従事職員数(人)	4.90	4.98	4.98	4.98		
	人件費相当試算※	38,033,384	39,190,394	40,818,007	40,818,007		
総事業費試算		58,892,901	61,276,966	63,836,007	73,157,007		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	農業委員会開催回数		目標値	回						
			実績値		1 2					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			開催回数に目標はないため、目標は設定しない / 開催回数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	農業委員及び農地利用最適化 推進委員数		目標値	人						
			実績値		40.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			定数のため目標の設定はしない / 深谷市の定数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	総会審議及び報告件数		目標値	件	1,200.00					
			実績値		1,225.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請の件数（過去の実績値） / 審議及び報告件数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	農地転用許可面積		目標値	㎡	19.00					
			実績値		16.90					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			農地法第4条及び第5条による農地転用許可面積（過去5年間の平均値） / 許可面積						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	農業委員会総会の開催回数は、予定どおり 1 2 回開催した。農業委員及び農地利用最適化推進委員数は、農業委員は定数の 2 4 人、農地利用最適化推進委員も定数の 1 6 人の体制で業務を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	総会審議、報告件数は利用権申請数が伸び、目標値を上回った。農地転用許可面積は、目標値以下に抑えることができた。
			評価者 農地係長 関根 克己

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	許可申請等を農地台帳システム（電算化）で一元管理することにより、農業委員会総会議案書の作成や農地台帳への整理・反映等がなされる。これにより、総会の運営や窓口相談などの業務を円滑に行うことができ、事務の効率向上に寄与している。 なお、民間委託や他事業との統合・連携については、法令等により許認可権限の委任等が制限されているため、可能ではない。
			評価者 事務局次長 笠原 正幸

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	農業委員、農地利用最適化推進委員の知識の向上や農地の利用集積を図るためのスキルの向上のため、総会終了後に研修会や勉強会を行う。
達成状況及び その効果	総会終了後に農地法や農業者年金、インボイス制度等の研修を行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農業委員会運営事務	担当課	農業委員会事務局	担当係	農地係	管理番号	69111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>令和4年度は、コロナ過に伴い時間短縮での総会となったが、連絡・調整等を密に行い、滞りなく審査・決定することができた。 また、研修会等においても同様に対処したが、講師による講演等により委員等の意識を深めることができた。 引き続き、農地台帳システムによる電算化や研修等を推し進め、事務の効率化を図っていく。</p>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> 事務局次長 笠原 正幸					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	農業委員・農地利用最適化推進委員のスキル向上のため、総会終了後の研修及び各種研修会を実施する。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和6年度各委員の改選が実施されるため、新たに委嘱をされた委員を対象に研修会や勉強会を実施していくなど、継続した学習機会の提供を行う。

8. 評価指標グラフ

